

ふるさと 訪ねある記

29



所在地：〒987-0602 中田町上沼字弥勒寺山63番地
問い合わせ：弥勒寺 ☎ 0220 (34) 6763

弥勒寺 (中田)

中田町上沼にある弥勒寺は、7世紀後半に修験道の開祖である役行者が、天下泰平と五穀豊穡を願って建立したのが始まりで、弘仁年間(810～823)には、弘法大師が弥勒尊の大法を修したと伝えられています。
天正年間(1573～1591)に、戦火によって焼失しましたが、伊達家の庇護を受けて再興。その後、一時衰退したものの寛永年間(1624～1643)、中興第一世快省和上によって中興されたと伝えられる古寺です。
現在は、本堂をはじめ奥の院、不動堂、千体地藏堂など10堂があり、仏像も数多く安置されています。
その一つ「弥勒菩薩像」は鎌倉時代のもので、県の重要文化財に指定されています。
毎年8月15・16日に行われる「みろく尊大祭」では、大献膳法要と先祖をはじめ亡くなった人の塔婆供養を行い、幸せを願います。特に15日の夜祭りは、大変なにぎわいで「3年お参りすると亡くなった人に会える」といわれ、この夜の群集の中に亡くなった人の顔を見ることができると伝えられています。

中田町上沼にある弥勒寺は、7世紀後半に修験道の開祖である役行者が、天下泰平と五穀豊穡を願って建立したのが始まりで、弘仁年間(810～823)には、弘法大師が弥勒尊の大法を修したと伝えられています。
天正年間(1573～1591)に、戦火によって焼失しましたが、伊達家の庇護を受けて再興。その後、一時衰退したものの寛永年間(1624～1643)、中興第一世快省和上によって中興されたと伝えられる古寺です。
現在は、本堂をはじめ奥の院、不動堂、千体地藏堂など10堂があり、仏像も数多く安置されています。
その一つ「弥勒菩薩像」は鎌倉時代のもので、県の重要文化財に指定されています。
毎年8月15・16日に行われる「みろく尊大祭」では、大献膳法要と先祖をはじめ亡くなった人の塔婆供養を行い、幸せを願います。特に15日の夜祭りは、大変なにぎわいで「3年お参りすると亡くなった人に会える」といわれ、この夜の群集の中に亡くなった人の顔を見ることができると伝えられています。

歴史博物館

広報ミニ展示室 16

＝江戸時代の紙布織肩衣＝



この肩衣・はかまなどは、9月22日から博物館で展示されます

この肩衣は、藍染めした絹糸と和紙でできた糸(紙糸)を緯糸に織り込んで作られています。紙糸で織った生地を紙布織といますが、絹糸と紙糸を織り込んだものは「絹紙布」と呼びます。紙布織の種類には、ほかに「諸紙布」「木綿紙布」「紅梅織」があります。紙布は楮などを用いて作られた和紙が原料になっており、繊維がしっかりしていて丈夫な上、通気性がよく涼しかったといわれます。主に武家の正装用の夏衣として用いられており、「江戸時代のクール・ビズ・アイテム」ともいえるでしょう。

平成19年度 人権を考える講演会
男女共同参画社会の実現に向けて

輝く未来へステップアップ 8/25(土)日

日本テレビ系人気番組
「行列のできる法律相談所」
ほかに出演中!

- ◎日時 平成19年8月25日(土)午後2時～
※開場午後1時
- ◎場所 登米祝祭劇場(大ホール)
- ◎入場料 無料(全席自由)※整理券必要
- ◎整理券 各総合支所窓口か市民生活部市民課、企画部市民活動支援課で、8月1日(水)から配布しています(郵便では受け付けません)。
- ◎内容 住田さんが就職しようとしていた当時、男女平等が憲法にうたってあったにも関わらず、女性に対する差別がひどく、就職しようとしても民間企業や国家公務員の門戸は閉ざされていました。ようやく司法試験に合格しても、「女性はいらぬ」、検事に任官するやいなや「検察は男の世界だ。ご主人の出世のために早く辞めなさい」などの声ばかり。そんな中で、大阪で二人のお子さんを産み育て、仕事を続けてきた住田さんの体験を通じて見えてくる、「これからの男女共同参画社会」の話をお楽しみください。テレビの話題も少しあるそうです。



講師 住田 裕子さん

【プロフィール】兵庫県加古川市出身、東京大学法学部卒、1979年東京地検検事、1996年から弁護士、内閣府男女共同参画会議議員

◎問い合わせ
市民生活部市民課
☎ 0220(58)2118 FAX 0220(58)3345



環境に優しい大豆油インキを使用しています



古紙配合率100%再生紙を使用しています